

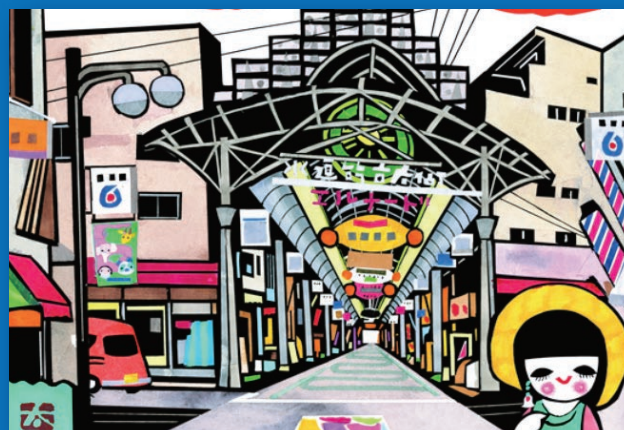
2018/4~2018/6

# にっしん景況レポート

Vol.

9

2018/7



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、平成30年4~6月の景気の現状と平成30年7~9月期の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。

対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

## 〈調査概要〉

1. 調査対象期間 : 平成30年4~6月の実績(6月については予想)  
平成30年7~9月の見通し
2. 調査方法 : 営業店調査員による面接聴き取り
3. 調査対象先 : 当金庫営業エリア内の351社
4. 分析方法 : D.I.という指標を用いた分析。  
D.I.とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、各質問項目について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I.となります。  
各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
5. 期間について : 今期 = 平成30年4~6月  
前期 = 平成30年1~3月  
前年同期 = 平成29年4~6月  
来期 = 平成30年7~9月
6. 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	149	49	21	18	24	17	20
三木地区	53	16	11	5	8	9	4
神戸地区	149	24	23	17	38	26	21
業種合計	351	89	55	40	70	52	45

## ●今期の景況

今期(平成30年4月～6月)の全業種における業況判断D.I.は7.4となり、前期実績と比して3.2ポイント低下した。売上額判断D.I.は▲2.3となり、前期実績と比して10.1ポイントの低下、収益判断D.I.は▲4.0となり、前期実績と比して2.9ポイント低下した。

売上額判断D.I.の前年同期比は12.5、収益判断D.I.の前年同期比は6.8となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲45.9となり、前期実績より4.0ポイント悪化しており、調査開始の平成28年4月から依然として人手不足感が強い状況となっている。

## ●来期の見通し

来期(平成30年7月～9月)の予想業況判断D.I.は10.3と今期実績7.4から2.9ポイント改善する見通しとなっている。また、予想売上額判断D.I.は12.5、予想収益判断D.I.は6.6となり、いずれも今期実績から改善する見通しとなっている。

### 〈「御社の業況」回答数〉

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
回答数	17	84	175	62	13	351
回答割合	4.8%	23.9%	49.9%	17.7%	3.7%	100%

$$\text{業況判断D.I.} = 28.775\% - 21.368\% \div 7.4$$

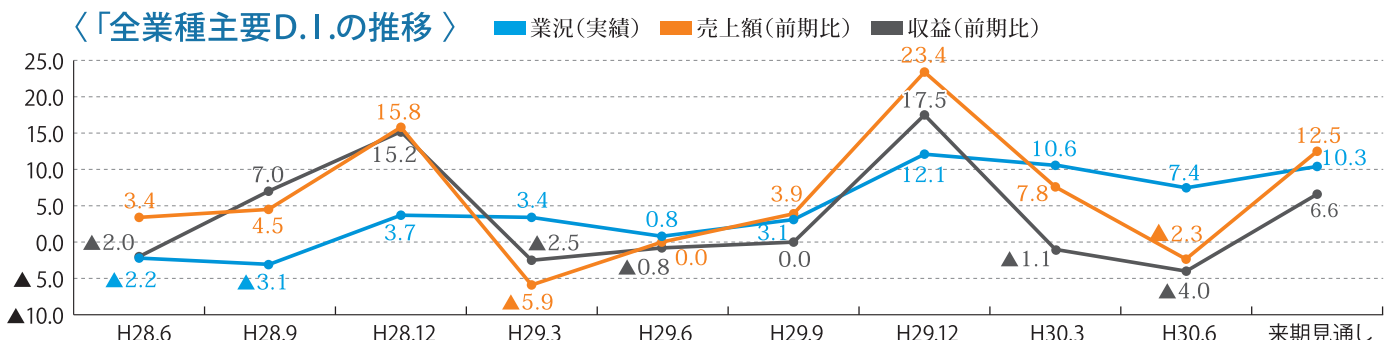
### 〈平成30年4～6月地区別業況判断D.I.〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	8.7	14.3	14.3	▲22.2	4.2	17.6	15.0
三木地区	1.9	18.8	0.0	▲40.0	0.0	0.0	0.0
神戸地区	14.8	12.5	8.7	23.5	0.0	34.6	19.0
全地区	7.4	23.6	▲3.6	▲22.5	4.3	0.0	28.9

### 〈全業種総合主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	10.6	7.4	10.3	販売価格(前期比)	9.6	6.9	8.0
売上額(前期比)	7.8	▲2.3	12.5	仕入価格(前期比)	31.6	33.3	29.3
売上額(前年同期比)	15.4	12.5	—	資金繰り(楽-苦)	▲1.1	3.1	1.7
収益(前期比)	▲1.1	▲4.0	6.6	人手不足(過剰-不足)	▲41.9	▲45.9	▲46.2
収益(前年同期比)	9.2	6.8	—				

### 〈「全業種主要D.I.の推移」〉



## ● 今期の景況 .....

今期の業況判断D.I.は23.6となり、前期実績と比して0.3ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は5.6、収益判断D.I.は▲3.4となり、前期実績と比してそれぞれ8.8ポイント、1.2ポイント低下した。売上額判断D.I.の前年同期比は24.7、収益判断D.I.の前年同期比は10.1となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲43.8となり、前期実績から6.0ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

## ● 来期の見通し .....

来期の予想業況判断D.I.は14.6と今期実績から9.0ポイント低下する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は6.7、予想収益判断D.I.は2.2となり、それぞれ今期実績から1.1ポイント、5.6ポイント上昇する見通しとなっている。

## 〈製造業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	23.3	23.6	14.6	販売価格(前期比)	12.4	12.4	7.9
売上額(前期比)	14.4	5.6	6.7	仕入価格(前期比)	41.1	37.1	23.6
売上額(前年同期比)	18.9	24.7	—	資金繰り(楽-苦)	10.0	10.1	1.1
収益(前期比)	▲2.2	▲3.4	2.2	人手不足(過剰-不足)	▲37.8	▲43.8	▲43.8
収益(前年同期比)	12.2	10.1	—				

## ● 今期の景況 .....

今期の業況判断D.I.は▲3.6となり、前期実績と比して1.8ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は5.5、収益判断D.I.は1.8となり、前期実績と比してそれぞれ18.0ポイント、14.3ポイント上昇した。売上額判断D.I.の前年同期比は9.1、収益判断D.I.の前年同期比は0.0となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は増加、収益は変わらずと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲32.7となり、前期実績から9.5ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

## ● 来期の見通し .....

来期の予想業況判断D.I.は9.1と今期実績から12.7ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は25.5、予想収益判断D.I.は16.4となり、それぞれ今期実績から20.0ポイント、14.6ポイント改善する見通しとなっている。

## 〈卸売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲5.4	▲3.6	9.1	販売価格(前期比)	10.7	5.5	10.9
売上額(前期比)	▲12.5	5.5	25.5	仕入価格(前期比)	19.6	21.8	29.1
売上額(前年同期比)	17.9	9.1	—	資金繰り(楽-苦)	▲16.1	1.8	1.8
収益(前期比)	▲12.5	1.8	16.4	人手不足(過剰-不足)	▲23.2	▲32.7	▲36.4
収益(前年同期比)	10.7	0.0	—				

### ● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲22.5となり、前期実績と比して10.0ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲15.0、収益判断D.I.は▲17.5となり、前期実績と比してそれぞれ5.0ポイント、10.0ポイント改善した。売上額判断D.I.の前年同期比は▲10.0、収益判断D.I.の前年同期比は▲12.5となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益が減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲35.0となり、前期実績と同じであり、依然として人手不足感が強い状況となっている。

### ● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲5.0と今期実績から17.5ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は10.0、予想収益判断D.I.は2.5となり、それぞれ今期実績から25.0ポイント、20.0ポイント改善する見通しとなっている。

#### 〈小売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲12.5	▲22.5	▲5.0	販売価格(前期比)	0.0	▲2.5	5.0
売上額(前期比)	▲20.0	▲15.0	10.0	仕入価格(前期比)	27.5	30.0	22.5
売上額(前年同期比)	▲10.0	▲10.0	—	資金繰り(楽-苦)	▲17.5	▲25.0	▲12.5
収益(前期比)	▲27.5	▲17.5	2.5	人手不足(過剰-不足)	▲35.0	▲35.0	▲45.0
収益(前年同期比)	▲15.0	▲12.5	—				

### ● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は4.3となり、前期実績と比して1.3ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は4.3、収益判断D.I.は0.0となり、前期実績と比してそれぞれ7.0ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は22.9、収益判断D.I.の前年同期比は15.7となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益が増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲67.1となり、前期実績よりも1.9ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

### ● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は1.4と今期実績から2.9ポイント低下する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は12.9、予想収益判断D.I.は4.3となり、それぞれ今期実績から8.6ポイント、4.3ポイント改善する見通しとなっている。

#### 〈サービス業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	5.6	4.3	1.4	販売価格(前期比)	7.0	14.3	11.4
売上額(前期比)	11.3	4.3	12.9	仕入価格(前期比)	28.6	31.9	26.1
売上額(前年同期比)	22.5	22.9	—	資金繰り(楽-苦)	▲7.0	▲7.1	▲7.1
収益(前期比)	7.0	0.0	4.3	人手不足(過剰-不足)	▲69.0	▲67.1	▲61.4
収益(前年同期比)	12.7	15.7	—				

### ● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は0.0となり、前期実績と比して24.1ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.が▲23.1、収益判断D.I.が▲9.6となり、前期実績と比してそれぞれ41.6ポイント、11.5ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲3.8、収益判断D.I.の前年同期比は5.8となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は減少したが収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲53.8となり、前期実績から7.5ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

### ● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は23.1と今期実績から23.1ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は15.4、予想収益判断D.I.は11.5となり、今期実績と比して予想売上額判断D.I.は38.5ポイント、予想収益判断D.I.は21.1ポイント改善する見通しとなっている。

#### 〈建設業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	24.1	0.0	23.1	販売価格(前期比)	5.6	▲1.9	1.9
売上額(前期比)	18.5	▲23.1	15.4	仕入価格(前期比)	32.1	39.2	41.2
売上額(前年同期比)	11.1	▲3.8	—	資金繰り(楽-苦)	3.7	5.8	9.6
収益(前期比)	1.9	▲9.6	11.5	人手不足(過剰-不足)	▲46.3	▲53.8	▲53.8
収益(前年同期比)	7.4	5.8	—				

### ● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は28.9となり、前期実績と比して11.9ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲2.2、収益判断D.I.は0.0となり、前期実績と比してそれぞれ27.7ポイント、21.3ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は15.6、収益判断D.I.の前年同期比は13.3となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲33.3となり、前期実績よりも1.4ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

### ● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は15.6と今期実績から13.3ポイント低下する見通しとなっている。予想売上額判断D.I.は6.7、予想収益判断D.I.は4.4となり、それぞれ今期実績から8.9ポイント、4.4ポイント改善する見通しとなっている。

#### 〈不動産業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	17.0	28.9	15.6	販売価格(前期比)	19.6	4.7	9.3
売上額(前期比)	25.5	▲2.2	6.7	仕入価格(前期比)	35.6	39.0	39.0
売上額(前年同期比)	21.3	15.6	—	資金繰り(楽-苦)	12.8	28.9	20.0
収益(前期比)	21.3	0.0	4.4	人手不足(過剰-不足)	▲31.9	▲33.3	▲31.1
収益(前年同期比)	19.1	13.3	—				



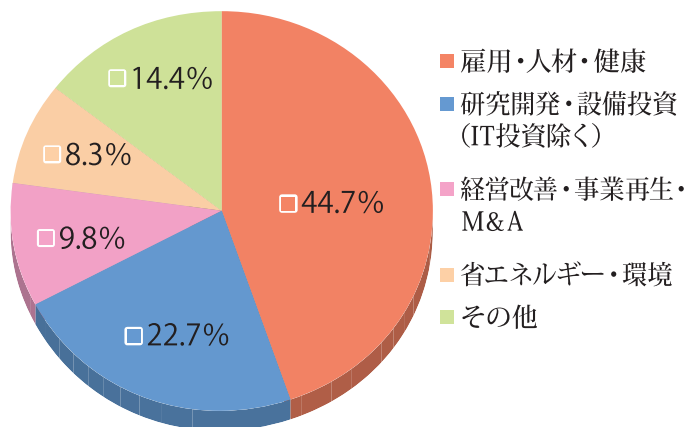
## 特別調査：中小企業経営に関する各種支援制度の利用について

### ● ～補助金や助成金の利用について～

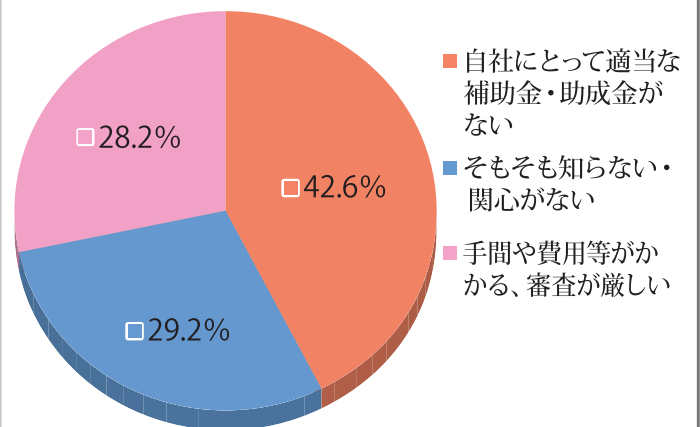
国や都道府県等による中小企業支援に係る補助金や助成金制度について、自社に役立ったと考えるものは「雇用・人材・健康(44.7%)」と回答した企業が最も多く、次いで「研究開発・設備投資(IT除く)(22.7%)」、「経営改善・事業再生・M&A(9.8%)」、「省エネルギー・環境(8.3%)」、となった。人材に関する補助金や助成制度の関心が高い結果となった。

また、補助金や助成金制度が活用できない理由については、「自社にとって適切な補助金・助成金がない(42.6%)」と回答した企業が最も多く、次いで「そもそも知らない・関心がない(29.2%)」、「手間や費用等がかかる、審査が厳しい(28.2%)」となった。

補助金や助成金の活用状況



補助金や助成金が活用できない理由

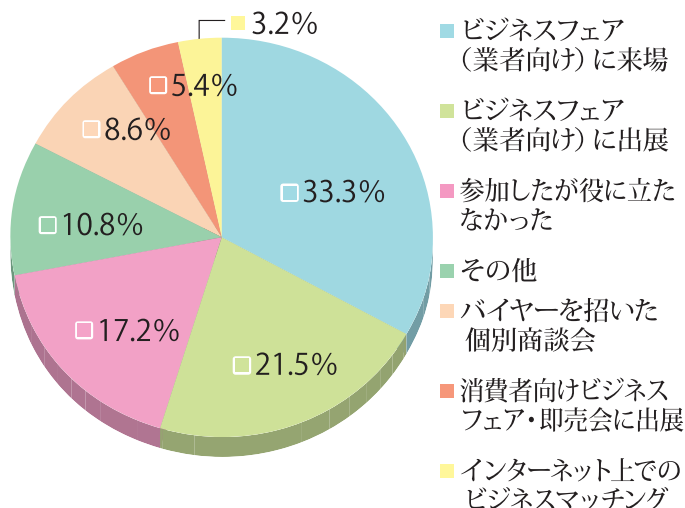


### ● ～商談会やビジネスフェアについて～

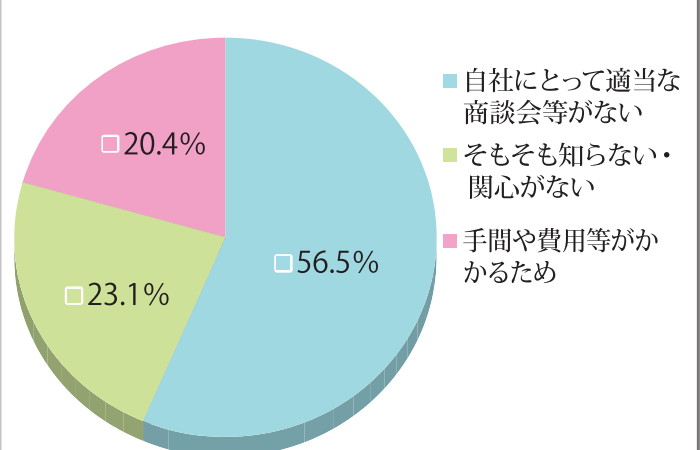
公的機関や金融機関等が主催する商談会やビジネスフェアについて、役立ったと考えるものは「ビジネスフェア(業者向け)に来場(33.3%)」と「ビジネスフェア(業者向け)に出展(21.5%)」をあわせて半数を占めた。一方で、「参加したが役に立たなかった(17.2%)」という回答もあった。

また、商談会やビジネスフェアを活用できない理由としては「自社にとって適切な商談会等がない(56.5%)」が半数以上を占めた。

商談会やビジネスフェアの活用状況

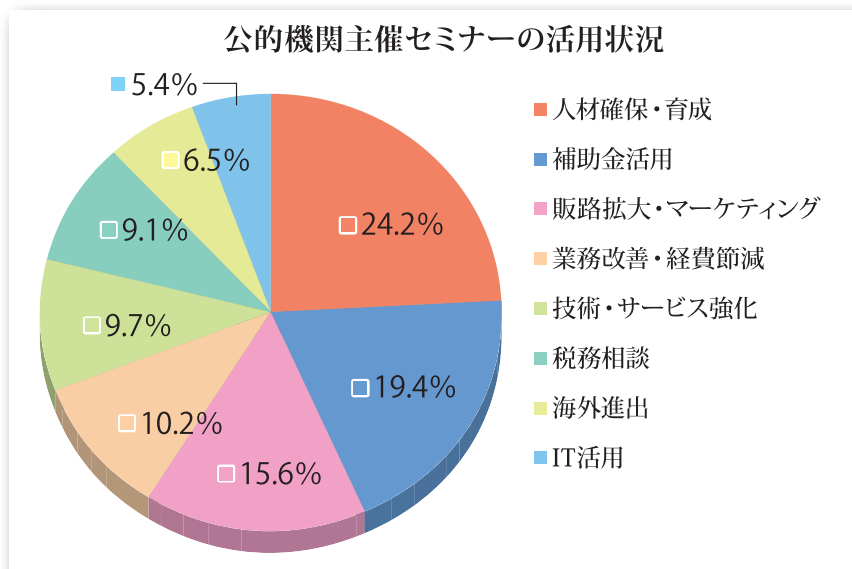


商談会やビジネスフェアが活用できない理由



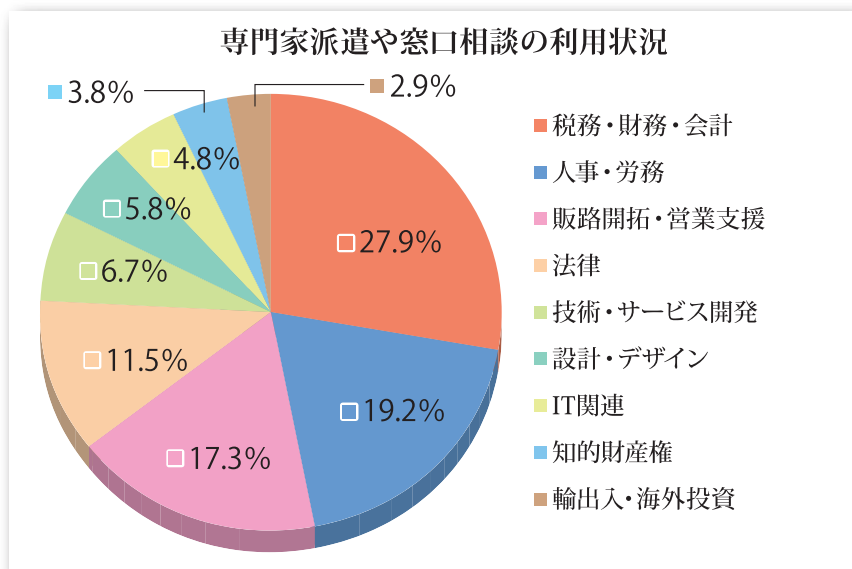
## ○ ～公的機関等が主催するセミナーについて～

公的機関等が主催するセミナーに参加して役に立ったと思うテーマは「人材確保・育成(24.2%)」と回答した企業が最も多く、「補助金活用(19.4%)」、「販路拡大・マーケティング(15.6%)」をあわせると全体の59.2%を占めた。一方で、「海外進出(6.5%)」や「IT活用(5.4%)」と回答した企業は少なかった。



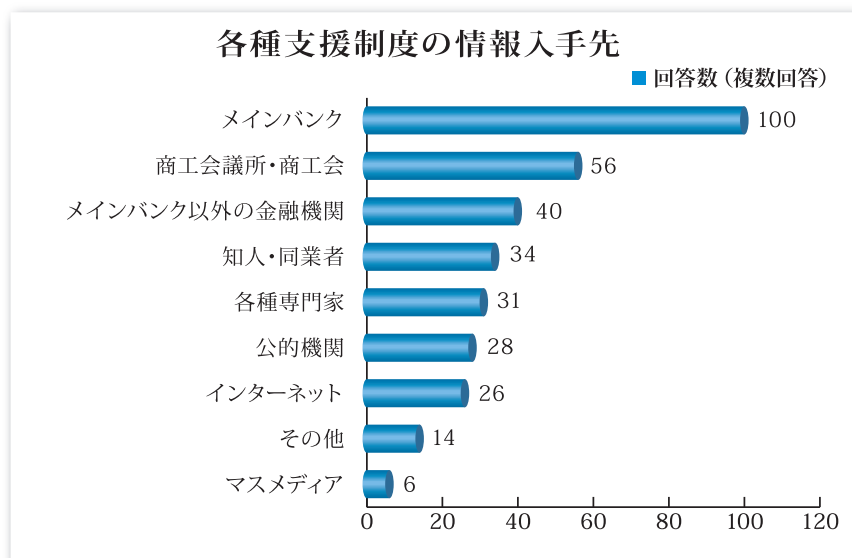
## ○ ～公的機関や金融機関が行っている専門家派遣や相談窓口の利用について～

公的機関や金融機関が行っている専門家派遣や相談窓口を利用して役立つ分野については「税務・財務・会計(27.9%)」と回答した企業が最も多く、「人事・労務(19.2%)」と「販路開拓・営業支援(17.3%)」をあわせると全体の64.4%を占めた。一方で、「知的財産権(3.8%)」や「輸出入・海外投資(2.9%)」と回答した企業は少なかった。



## ○ ～支援制度を利用するに当たり情報をどこから入手したか～

支援制度を利用するに当たっての情報入手先は「メインバンク」と回答した企業が最も多かった。次いで「商工会議所・商工会」、「メインバンク以外の金融機関」、「知人・同業者」「各種専門家」となっており、「マスメディア」を利用した情報収集は少数であった。



## イベント関連

### ●「にっしん輝きメッセ2018」を開催します！

昨年に引き続き、西日本最大規模のビジネスマッチングフェア「国際フロンティア産業メッセ」と同時開催で、「にっしん輝きメッセ2018」を開催します。

今年度も25社の当金庫お取引先様がブースを出展し、自社技術や製品のPRを行います！

- 会 期：平成30年9月6日(木)・7日(金)10:00～17:00
- 会 場：神戸国際展示場1号館(神戸ポートアイランド) ※今年度のブース出展の受付は終了しています。

### ●「明石公園パパたごりレーマラソン」に協賛します！

平成24年より当金庫が特別協賛している「明石公園パパたごりレーマラソン」が、今年も明石公園陸上競技場で開催されます。ご家族、お友達同士、学校や会社の仲間など、チームを作って参加してみませんか？

- 開催日：平成30年11月23日(金・祝) ●開催種目：リレーマラソン、親子マラソン、個人
- 会 場：きしろスタジアム(明石公園陸上競技場)

詳細は JTB スポーツステーションホームページ <https://jtbsports.jp/> をご覧ください。

### ●「平成30年度国内旅行」を実施します！

年金受給者様へのサービスとお客様とのより一層の親交を図るため、今秋、国内旅行を実施します。詳細はお取引店までお問合せください。

- 実施日：日帰り旅行コース(御創建1250年を迎えた世界遺産春日大社で特別参拝と1300年の時を越えてよみがえる平城宮跡歴史公園への旅) ●平成30年10月16日(火)、17日(水)、18日(木)
- 実施日：一泊二日コース ~秋の南信州を訪ねて~ ●平成30年11月13日(火)～14日(水)  
(宿場町妻籠と木曾・飯田路散策～ ●平成30年11月14日(水)～15日(木)  
旬の味覚リンゴ狩り美肌の湯・昼神温泉) ●平成30年11月15日(木)～16日(金)

## 商品関連

●キャンペーン商品としてお取扱いしております以下の商品も是非ご利用ください。

- ★スーパー定期「超パワフル」(年金お受け取りのお客様対象)
- ★スーパー定期「年金Jr.」(当金庫で年金お受け取りをご予約いただいたお客様対象)
- ★子育て応援定期積金「夢すくすく」(18歳以下のお子様がおられるお客様対象)
- ★当金庫の新たな情報発信ツールとして「LINE@」をはじめました。「LINE@」では当金庫からキャンペーン商品のご案内、地域貢献、地域イベントの紹介等を発信しますので、右記QRコードから「友だち」登録をお願いします。




このたびは、第9回中小企業景気動向調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、下記フリーダイヤルまでお問合せください。

 **日新信用金庫**

〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク  
 **0120-15-2489**

(受付時間)平日午前9時から午後5時まで